

みしま



死ぬな。逃げろ。助けろ。

◎特集

防災

2008

11

広報みしま No.188

Photo/三島町防災訓練で行われた放水訓練(10月16日 森の校舎カタクリ)

左から、小柴信子さん(婦人防火クラブ会長・西方)、北館緑さん(婦人防火クラブ西方支部長)、青木厚さん(消防団西方班)



①



③



②

①平成16年7月13日、活発な梅雨前線による集中豪雨で増水した滝谷川。この豪雨では新潟県中越と福島県会津を中心に被害が発生し、「新潟・福島豪雨」と名付けられた。三島町では日雨量205mmを観測し、土砂崩れや道路の決壊などの被害が発生した。死者は新潟県内で15名、昭和村でも1名が亡くなった。

②平成17年12月から平成18年1月にかけて全国的に記録的な大雪となり、「平成18年豪雪」と名付けられた。三島町では積雪204cmを観測。降雪と低温が続いて除雪が間に合わず、高齢者世帯を中心にボランティアをお願いして除雪にあたった。写真は、間方地区でのボランティアによる除雪作業の様子。

③昨年2月7日午前2時半頃、金山町小栗山で土砂崩れが発生し民家2棟が全半壊した。雨や雪で地盤が緩んでいたことが原因と見られる。集落の北側約400mの位置にある山林が、幅約50m、高さ約25mにわたって崩れ落ち、集落に流れ込んだ。全半壊した2世帯を含め10世帯25人が避難し、今年5月に避難指示が解除されるまで仮設住宅などでの生活を強いられた。



今年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震では、最大震度6強を観測し、死者13名、行方不明者10名、負傷者448名という大惨事となった。写真は、大規模な山林崩壊が起きた宮城県栗原市栗駒地区。

忘れない あの恐怖

新潟地震で自宅が半壊 角田伊一さん（川井）

昭和三十九年六月十六日。その日は田の草取りに行く予定でしたが、母に「行かないほうがいい。」と言われました。今思えば虫の知らせだったのかも知れません。地震は昼食後に起こりました。妻は、具合の悪かった二歳の娘といっしょに家の二階にいましたが、どうやって降りたか覚えていないと言います。言うようにして外へ出ると、地面が波打っていて歩くことができません。私の家は半壊し、地すべりで宙に浮いた状況になりました。近くの杉林は只見川へと崩れ落ち、対岸にぶつかりました。あの恐ろしい光景は忘れることができません。逃げるのがやっとで、

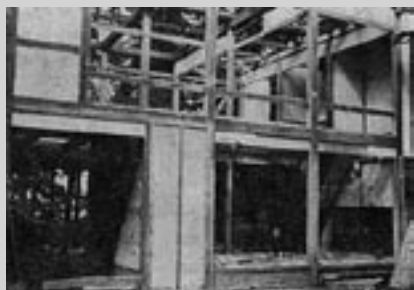
■新潟地震

昭和39年6月16日、午後1時過ぎに発生。震源は新潟県の栗島南方沖。津波や火災が発生し、日本海側の広範囲に大きな被害をもたらした。

死者 26名
全壊 1,960棟
半壊 6,640棟
浸水 15,298棟



角田伊一さんと妻の正子さん



新潟地震で半壊した角田さんの家

今年六月十四日——
テレビに映し出された衝撃的な映像に、誰もが目を疑いました。

岩手・宮城内陸地震

山林は波打つように崩壊し、土砂崩れなどで尊い命が奪われました。どうすることもできない自然災害の恐怖が、またも人々に襲いかかりました。

このような大地震が、もし三島町で起きたら…。

他人事ではありません。災害は、いつ起こるかわかりません。どこで起きても不思議ではありません。そして誰にも止めることはできません。道路は寸断され、電気もガスも水道も止まり、地域は完全に麻痺します。建物は倒壊し、火災も発生します。今、私たちにできることはただ一つ。被害を最小限に食い止めるための「日常の備え」です。

◎特集 死ぬな。逃げろ。助けろ。

防災

災害時には、町は緊急に対策本部を設置し、職員総動員で対応します。今年三月に「三島町地域防災計画」を修正し、災害対応のマニュアルを再確認しました。しかし、大災害が発生すれば、迅速な救助や支援活動が困難になります。行政だけで町民の皆さんを助けることはできません。一人一人の備えや、災害現場での的確な行動が重要になります。防災の基本は、まず「死ぬな」。そして「逃げろ」「助ける」。自分を守るために、家族を守るために、今できることを考えます。



Interview



佐藤 幸志 西方区長

日頃のコミュニケーションが大切

区長になって最初に心配したことは「防災」でした。今回の防災訓練では、各隣組長や老人会、婦人会などに声をかけ、被害報告を徹底し、災害時の連絡体制を確認することができました。仕事を休んで参加してくれた方もおり、大変感謝しています。人任せにせず、一人一人が責任を持って行動することが大切です。また、住民同士のコミュニケーションが、いざという時に役立つと感じています。

Interview



会津坂下消防署
星 始 三島出張所長

地震の二次災害で怖いのは火災

地震直後に発生する火災によって被害が拡大します。火が小さいうちに協力して消すことが重要です。飲料水や食料、乳児のミルクなどは最低3日分準備しましょう。福島県周辺では地震が多発しており、福島県に迫ってきているような気がします。地域ごとの自主防災組織も必要です。まずは防災訓練に参加しましょう。あなたの身を守るのには、あなた自身なのですから。



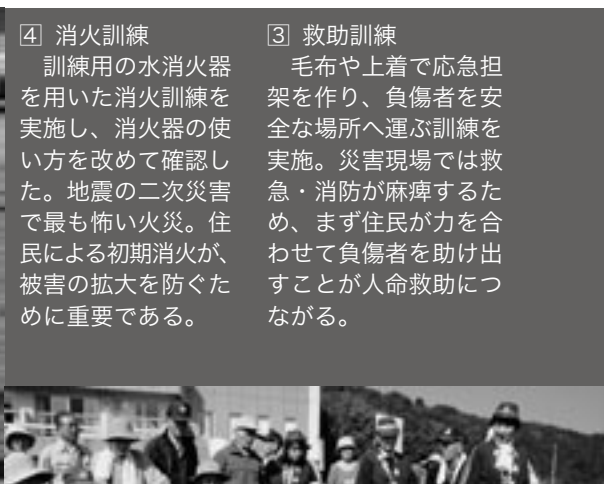
防災訓練では、会津坂下消防署三島出張所の大竹一嘉 消防司令補や、県立宮下病院の岩崎愛 看護師などの指導により各種訓練が行われた。

震度	現象・被害
7	揺れにほんろうされ動くことができない。家具が飛ぶ。建物は倒壊。大規模な地すべりや地割れが発生する。 (1995年 阪神淡路大震災、2004年 新潟中越地震)
6強	立っていることができない。家具が転倒する。多くの建物の壁や窓ガラスが破損。広い地域で停電、断水する。 (2007年 能登半島地震、2008年 岩手・宮城内陸地震)
6弱	立っていることが困難になる。家具が転倒する。建物の壁や窓ガラスが破損。耐震性の低い建物は倒壊。
5強	かなりの恐怖を感じ思い通りに動けない。テレビが台から落ちる。家具が移動する。自動車の運転が困難になる。
5弱	恐怖を感じる。棚から食器類や本などが落ちる。
4	眠っている人が目を覚ます。食器類が音を立てる。
3	ほとんどの人が揺れを感じる。

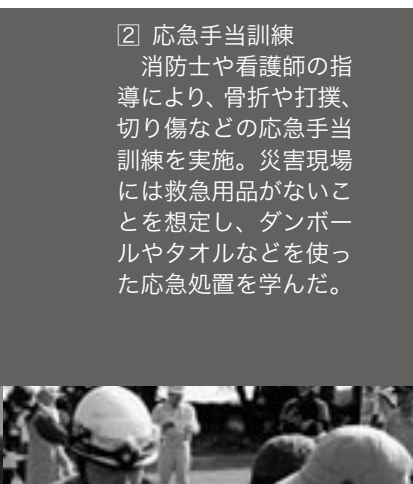


④ 消火訓練

三島町防災訓練
■主催/三島町・西方地区・三島町消防団 ■参加団体/三島町婦人防火クラブ・三島町赤十字奉仕団・三島町社会福祉協議会・会津坂下消防署・会津坂下警察署・県立宮下病院・福島県会津地方振興局



③ 救助訓練



② 応急手当訓練



① 避難訓練
午前8時58分、防災無線により避難指示の放送が流れ、西方地区の住民が「森の校舎カタクリ」校庭に徒歩で避難した。区長は各隣組長から被害状況の報告を受け、現地対策本部に報告した。



① 避難訓練

死ぬな！

自主防災



十月十六日午前八時三十分、震度6強の揺れが三島町を襲う。町内では多くの建物が倒壊し、火災も発生。多くのけが人が出ている。

このような想定で、西方地区を中心に三島町防災訓練が行われました。地震発生直後、役場では災害対策本部を設置。全職員を動員して被害情報収集に当たり、西方地区の被害が大きいため、森の校舎カタクリに現地対策本部設置を決定。午前八時五十八分、防災無線で西方地区に避難指示を出し、地区住民の皆さんが徒歩で森の校舎カタクリに避難しました。同時に消防団西方班が召集され、班員は情報収集と避難誘導に当たりました。

備えと団結で命を守る 震度6強の地震を想定した防災訓練を実施 訓練が最大の「防災」

今回の防災訓練は、西方地区住民の皆さんと関係機関の協力を得て、約三百名が参加しました。災害が起きたときの連絡体制や避難場所を再確認すると共に、様々な防災の知識を学ぶ機会となりました。このような訓練を定期的に行い、そのたびに災害に対する備えを確認することが重要です。住民の皆さんが団結し、繰り返し訓練をすることが最大の「防災」となります。



覚えてください
命を守るために

心肺蘇生法

① 意識の確認

耳元で「大丈夫ですか」と叫び、意識があるかどうか確かめます。

② 119番通報とAEDの手配

意識がない時は大きな声で助けを求め、「あなたは119番通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と頼みます。誰もいない時は、自分で119番通報します。

③ 呼吸の確認

正常な呼吸をしているか、胸は動いているかを確認します。

④ 人工呼吸と心臓マッサージ

正常な呼吸をしていなければ、すぐに人工呼吸を行います。片手を額に当て、頭を後ろにのけぞらせて気道を確保します。鼻をつまみ、胸が上がるのがわかる程度に約1秒かけて息を吹き込みます。これを2回行ったら、両手を重ねて胸の真ん中を垂直に押します。胸が4～5cm沈むくらいの圧迫を、1分間に100回の速さで30回行います。こうして人工呼吸2回、心臓マッサージ30回を交互に繰り返します。

⑤ AEDの使用

AEDが届いたら、電源を入れて電極パッドを傷病者の胸の右上と左下に貼り付け、音声ガイドに従って操作します。救急車が到着したら、救急隊員に引き継いでください。

1分1秒を争う 命のリレー

現場に居合わせた人の応急処置が救命率を高めます。

119番通報

心肺蘇生法
※AEDの使用

救急車到着
救急隊員へ引継ぎ

病院へ搬送

人工呼吸



心臓マッサージ



AEDの操作



人は心肺停止から五分を過ぎると、命が危ない状況になります。通報から救急車が到着するまでの平均時間は六分。その間に何もしなければ、助かる見込みはほとんどありません。命を救うのは、その場に居合わせた人の勇気ある行動。それが「心肺蘇生法」という命をつなぐリレーです。

※AED

(自動体外式除細動器)
自動的に傷病者の心電図を解析し、心肺停止の場合、ボタンを押して電気ショックを与える救命器具。音声ガイドに従い、誰でも使用することが認められています。



AEDは下記の施設・事業所に配備されています。

- 町民センター
- 三島中学校
- 福寿草
- 佐久間建設工業(株)

救命

勇気を出してつなげ
大切な命のリレー

助けろ！

目の前で人が倒れ、呼吸も心臓も止まっている
その時、あなたの勇気ある行動が命を救います



ダミー人形を使った心肺蘇生訓練

災害が起きたら 最寄りの施設に避難を

避難勧告や避難指示が出された場合や、自主的に避難する場合は、下記の施設が避難所となります。

- 町民センター
- 宮下活性化センター
- 多目的集会施設 (ひだまり)
- 桑原集会所
- 大登生活改善センター
- 川井集会所
- 桧原多目的集会所
- 滝谷集会所
- 大谷活性化センター
- 浅岐集会所
- 間方集会所
- 西方ふさとセンター
- 大石田生活改善センター
- 名入集会所
- 高清水集会所
- 滝原林業集会所センター
- 早戸生活改善センター
- 三島小学校
- 三島中学校
- 生涯学習センター森の校舎カタクリ
- 交流センター山びこ
- 生活工芸館
- 三島保育所

災害による被害が予想される場合、町は防災無線や広報車によって「避難勧告」や「避難指示」を出します。その時は、できるだけ隣近所に声をかけながら、落ち着いて指定の避難所に避難してください。また、気象庁は災害の恐れがある場合に「警報」を発表します。さらに「記録的短時間大雨情報」や「過去数年間で最も土砂災害の危険性が高い」などのキーワードで警戒を促します。ふだんから天気予報に注意し、危険を感じたら自主的に避難することが被害の防止につながります。非常時の持出品は「無ければ困るもの」をまとめ、取り出しやすい場所に常置いてください。一番必要となるのは「水」と「食料」です。救援が遅れることを想定して最低三日分は準備し、いつ災害が起きても持ち出せるようにしておきましょう。

非常持出品 無ければ困るものを準備

非常持出品は、災害時に必要なものを「非常持出袋」にまとめ、いつでも持ち出せる場所に保管しましょう。電気・ガス・水道など、すべてのライフラインが止まった場合を想定して準備してください。



非常持出品の例

■非常持出品の例

- ①水・非常食 (3日分)
- ②懐中電灯
- ③常備薬
- ④救急セット
- ⑤貴重品
- ⑥シート
- ⑦軍手
- ⑧携帯ラジオ
- ⑨電池
- ⑩給水容器
- ⑪ナイフ
- ⑫食器
- ⑬マッチ・ライター
- ⑭生理用品
- ⑮ビニール袋
- ⑯コンロ
- ⑰新聞紙

逃げろ！

避難

避難所を確認し
非常持出品の備えを

速やかに落ち着いて隣近所いっしょに避難
「水」と「食料」の備えは最低三日分

家族がイナイ

171

災害用伝言



災害時、家族などの安否確認のために「災害用伝言ダイヤル171」があり、固定電話、携帯電話、公衆電話から利用できます。音声案内に従って30秒以内の伝言の録音・再生ができます。録音された伝言は、48時間保管され、被災地やそれ以外の地域から再生して聞くことができます。



町の防災の要である三島町消防団。団員数は現在140名。団員の確保が課題となっているが、消火栓や消防ポンプの点検、ポンプ操法訓練など、日々の消防団の活動は住民の安全・安心のために欠かせない。

家族のため地域のため 忘れない「防災の心」



災害時、体も心もあたたまる炊き出しは何よりもありがたい。写真は、防災訓練での三島町赤十字奉仕団と三島町社会福祉協議会の方々による炊き出し訓練の様子。ハイゼックスという特殊な袋を用いる方法と、普通の鍋と薪で炊く方法で、130人分のおにぎりを作り、参加者にふるまった。まさに住民の「共助」の精神がここにある。



自助・共助・公助 地域みんなで助け合う

災害時は、まず自分が助かること、次に人を助けることです。そのために「自助・共助・公助」という防災の基本があります。「自助」は、自分の身を自分で守ること。「共助」は、隣近所の住民が共に助け合うこと。「公助」は、公の防災機関によって助けることです。この三つがうまく機能することで、地域全体の防災体制が整い、被害を最小限に抑えることができます。

行政は全力で「公助」に当たります。町職員は総動員で、できる限りの救援活動に走ります。町民の皆さんは、「災害は起こる」という意識を常に持ち、「日常の備え」に徹してください。大災害は、明日かもしれません。

◎特集「防災」終わり

Interview



五十嵐 五郎 三島町消防団長

隣近所呼びかけ合って防災を

10月16日の三島町防災訓練では、西方地区の皆さんが大勢参加してくださり、大変感謝しております。これも防災に対する意識の高まりの現われだと思います。私も現在まで何件もの自然災害、火災の現場に携わってきましたが、その時の状況を思い出すたびに身が引き締まります。住民の皆さん一人一人が注意し、隣近所呼びかけ合って、火災のない、災害のない町づくりを進めなければなりません。我々消防団も、安全安心な地域を目指し、新たな気持ちで「防災」に努めていきたいと思っています。

楽観視が被害を招く 早い決断が被害を防ぐ

災害は、いつどこで起きても不思議ではありません。しかし、頭では分かっているにもかかわらず、実際に起こるとはなかなか思えないものです。その楽観的な意識に「落とし穴」があります。地震や水害で被災した

「災害は起こる」という意識を持って 「すぐ逃げる」「隣近所に声をかける」

「まだ大丈夫」は大きな間違い 意識の中に「落とし穴」がある

人々の多くは、「まさかこんな揺れるとは思わなかった。」「まさかここまで水が来るとは思わなかった。」などと言います。また、「まだ大丈夫だと思つて：。」「隣の家が逃げないから：。」などと楽観視して逃げ遅れ、被害を受けた方もたくさんいます。最近では、狭い範囲で短時間

に大雨が降る「ゲリラ豪雨」が各地で増えています。そのような場合には、現地の状況把握が遅れ、避難勧告や避難指示が間に合わないことも考えられます。危険を感じたら、自主的に「すぐ逃げる」、そして「隣近所に声をかける」などの早い決断が、被害を防ぐために非常に大切です。

防災の家族会議をしてみよう

家族が無事であることが、私たちの一番の願いではないでしょうか。もしもの時のために、ぜひ家族で話し合ってください。防災について考えると同時に、きっと「家族のきずな」が深まるきっかけになると思います。

- 非常持出品などの備えは大丈夫か？
- 離ればなれになった時の連絡方法は？
- 避難場所や避難ルートを確認しよう。
- 家屋に危険箇所はないか？
- 心肺蘇生法とAEDの使用法を学ぼう。

心肺蘇生法とAED使用の講習を行っています。

会津坂下消防署の「普通救命講習」

会津坂下消防署では、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用法を学ぶ「普通救命講習」を行っています。5人1グループから受け付けています。大切な命を守るために、ぜひ受講してください。詳しくは、下記までお問い合わせください。

☎ 会津坂下消防署三島出張所 ☎ 5 2 - 3 0 3 2

《防災訓練用品を整備しました》

町では、財団法人自治総合センターの「ふるさと消防団活性化助成事業」により下記の訓練・広報用機材を購入し防災のために役立てています。

用具・機材	数量
訓練用消火器（水消火器）とノズル接続ジョイント	3本
蘇生法教育簡易モデル（ダミー人形）と訓練用AED	1式
角型水槽	2組
ノートパソコン	1台
プロジェクター	1台
キャリングケース	1個

《軽消防自動車の寄贈が決定》

大谷地区に配備する予定です

社団法人日本損害保険協会から、小型動力ポンプ付軽消防自動車1台が寄贈されることが決まり、大谷地区に配備する予定となっています。

☎ 役場 総務課 総務係 ☎ 4 8 - 5 5 1 1



ジャンボ焼鳥挑戦イベントでは、参加者が協力して長い竹串に地鶏肉をさし、炭でじっくりと焼いた。焼きあがった焼鳥は7m41cmを記録。参加者の皆さんは、完成まで約1時間立ちっぱなし。苦労が実り、最後にジャンボ焼鳥を分け合った。



地鶏バーベキューを味わう家族連れ

三島の秋味はうまい！

第7回 会津地鶏まつり&美坂高原新そばまつり

第7回会津地鶏まつりと美坂高原新そばまつりは、10月12日、美坂高原で開催されました。地鶏1羽3～5名分に地元野菜付きのバーベキューは、1口3500円。家族連れなどが県内外から多数訪れ、150口すべて完売しました。また、「ジャンボ焼鳥挑戦イベント」や「地鶏ひなレース」などの楽しいイベントも行われました。同時開催の「美坂高原新そばまつり」は、美坂高原産の新そばを使い、ざるそば、地鶏そば、山菜そばが1人2000円で食べ放題。こちらも大好評でした。地鶏と新そば。「三島の秋味」は最高です。



会津の編み組工芸品展には、全会津の市町村から92名の応募があり、合計635点の作品が会場に並んだ。県内だけでなく首都圏方面などからも工芸好きの方々が多数訪れ、作品は次々に売約された。

全会津の匠の技が集まる

第4回 会津の編み組工芸品展

第4回会津の編み組工芸品展は、10月18・19日の2日間、交流センター山びこで開催されました。奥会津三島編組品振興協議会の主催。三島町の国指定伝統的工芸品「奥会津編み組細工」はもちろん、竹、あけび蔓、マタタビ蔓、山ブドウ蔓皮など、自然素材の編み組工芸品だけを、全会津から集めた展示会です。作品は審査が行われ、「米揚げ箆」を出展した諏佐信平さん（金山町）が、最高賞の福島県会津地方振興局長賞を受賞されました。また、会場では伝統工芸士の五十嵐文吾さん（大登）、二瓶新永さん（大登）、舟木トメ子さん（間方）などが編み組細工の実演を行い、生活文化の中で培われた技を見せながら来場者と交流しました。



輪投げオリンピック

老いも若きもパワー全開

桐の里町民運動会

桐の里町民運動会は、さわやかな秋晴れとなった10月13日、町民運動場で開催されました。地区対抗綱引きは、地力に勝る大石田チームが優勝。地区対抗長縄跳びは、川井チームが息の合った跳躍で54回を跳んで優勝しました。そのほか「グラウンドゴルフグランプリ」や「輪投げオリンピック」など、計10種目が行われ、幼児から高齢者まで多くの皆さんが参加しました。また、開会式の中で「生涯学習スポーツ表彰」が行われ、陸上競技で県大会に出場した中学生3名が表彰されました。

生涯学習スポーツ表彰者

氏名	成績
五十嵐 涉くん	県中学陸上1500m出場
西方 雅 明くん	県中学陸上400m出場
小 柴 遥さん	県中学陸上4種競技出場



地区対抗綱引きで優勝した大石田チーム。決勝戦では、昨年優勝の宮下チームに2連勝し、抜群の力を見せた。

クラシック音楽の生演奏に感動

演奏「仙台チェンバーアンサンブル」

クラシック音楽のコンサートが、10月8日、三島小学校体育館で開催されました。演奏は、仙台チェンバーアンサンブルの皆さん。ピアノ、バイオリン、チェロ、フルート、クラリネット、パーカッション、歌と朗読による演奏が行われました。曲目は、サウンド・オブ・ミュージック、天空の城ラピュタより「君をのせて」、ラブソディ・イン・ブルー、音楽の動物園など。コンサートの最後には、来場者全員が参加して三島小学校校歌などを演奏しました。プロが奏でる見事な生演奏が、体育館いっぱいに響き渡り、音楽の楽しさ、すばらしさを改めて感じる機会となりました。



このコンサートは、「放課後ひろば」として未来を担う子どもたちの健やかな成長をサポートする東北電力㈱の主催により行われました。

天からの贈物で安全祈願

会津坂下警察署 三島駐在所

会津坂下警察署三島駐在所の鈴木孝二巡査部長が、駐在所裏でさつまいもを栽培したところ、とぐろを巻いたような珍しい形のさつまいもがとれました。三島駐在所ではこれを「交通安全」と「火の用心」を祈願し、のぼりを立てて飾りました。



珍しいサツマイモを飾った安全祈願

名入鉄道愛護子供会に感謝状

きれいな会津西方駅を守る

名入地区の小学生で作る「名入鉄道愛護子供会」は、毎週土曜日の朝、会津西方駅のホームや待合室の清掃を行っています。名入地区で伝統的に行われてきた活動で、親の世代の皆さんも行っていたそうです。JR東日本では、長年にわたる清掃活動に感謝し、十月二十九日、小沼真一 会津坂下駅長から代表の二瓶和香さん（小6）に感謝状が伝達されました。地区の子どもたちが受け継いできた駅を守る活動。本当にすばらしい伝統だと思います。



名入鉄道愛護子供会と保護者の皆さん

たくさんの本を子どもたちに

福島県立図書館「読書推進講座」

福島県立図書館主催の読書推進講座は、九月二十五日、町民センターで開催されました。まず生活評論家の境野米子さん（福島市在住）が「食と読書のおいしい関係」と題して講演し、子どもの頃、家族でいつも本を読んでいたことや、食べものの不安がきっかけで本を書き始めたことなどにふれ、「子どもに何を与えたいのか、何を伝えたいのか、親がしっかり考え、子どもを守らなければならぬ」と話しました。続いて奥会津書房編集長の遠藤由美子

さんをコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われました。パネリストは、只見町立朝日小学校校長 栗村良輔さん、同校図書ボランティア 菅家成美さん、県立葵高校主任学校司書 長崎キヨ子さん。朝日小学校の本に親しむ環境づくりや、葵高校の「コンビニのように立ち寄りやすい図書館」などが紹介され、生活の中に自然に「本」があることが、子どもたちのために大切だということが話し合われました。



講演した境野米子さん



読書について話し合ったパネリストの方々

樹齢350年の巨木を「生かす」

栃の巨木の伐採見学会

十月二十八日、浅岐地区の入山沢で、栃の巨木の伐採見学会が開催されました。「山と木の市場実行委員会」（代表五十嵐善徳さん）の主催。県内外から見学者が約二十名集まり、山奥の現場まで約三十分かけて到着しました。栃の木は高さ三十メートル以上、直径約二・五メートル、樹齢は三百年以上と推定され、このままだと寿命で枯れてしまします。伐採は、地元の林業者の方々が一メートル以上あるチェーンソーを使って行いました。倒れる瞬間、体が震えるほどの

轟音が山々に響き渡りました。参加者の方々は、三百年の時間を越えて生きてきた巨木のエネルギーを肌で感じ、拍手や奇声が湧き起こりました。今年六月には、「ふるさと会津工人まつり」と同時に「山と木の市場」を開催し、多くの方々の関心を集めました。今回伐採した栃の巨木は、製材して展示販売する予定です。「山と木の市場実行委員会」では、木材業を通して「森を生かす」ための活動を今後も続けていく考えです。



伐採された樹齢350年以上の栃の巨木。寿命がくれば朽ちて土となる運命だった巨木は、製材され新たな形に生まれ変わる。

入会促進願い「蕎麦会」

若松三島会

十月二十五日、若松三島会の「蕎麦会」が会津若松市の鶴ヶ城本丸茶屋で開催され、会員や三島町出身の方々約三十名が出席しました。はじめに、会津古城研究会長 石田明夫氏から若松城、神指城などに関する講演を聴き、会津の歴史について知識を深めました。その後、三島町で生産された蕎麦粉を使った蕎麦を食べながら懇親を深めました。



若松三島会の蕎麦会

旧友と再会 三島の発展願う

第32回 首都圏三島会総会

首都圏三島会総会は、十月十八日、東京都上野で開催され、五十三名の会員が出席しました。三島町からは、角田伊一町議会議長をはじめ、町職員三名、JA会津みどり三島総合支店長、山菜加工場職員が出席しました。懇親会では旧友との再会を祝い、ふるさとの話題で盛り上がりしました。首都圏三島会では、三島町の発展を願い、支援体制の充実を図りたいと考えています。

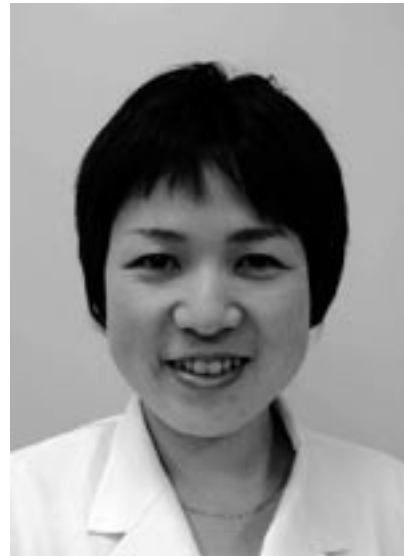


首都圏三島会総会

連載

心の医療

福島県立宮下病院からの情報コーナー



福島県立宮下病院 内科医
後藤 直子 先生

ハチに注意！

今年は例年になくハチに刺される人が多い年でした。「ハチ刺され」の症状は極めて多彩です。アレルギーがなければ、痛み、かゆみ、発赤、はれといった症状だけで、3日間ほどで消失しますが、アレルギーの場合には、じんましん、時には呼吸困難や意識障害などのショック症状があらわれ、死に至ることもあるので注意が必要です。アレルギー症状は、刺されてから30分以内に生じます。刺されたのが初めてでも、症状が出ることがあります。

ハチに刺された場合は、毒針が残っていたら取り除いてハチ毒を吸い出し、可能ならば冷やしてください。手足を刺された場合は、心臓に近いところを縛るなどの処置もあわせて行います。また、ショックを起こしたことがある人は、自己注射用アドレナリン注射液について医師に相談してください。

「ハチ刺され」を避けるために、屋外での作業や山歩きをする際には、肌の露出を避け、香水や黒い色の衣服も避けたほうが良いでしょう。

図 福島県立宮下病院事務部 TEL 5 2 - 2 3 2 1

町へのご寄付 ありがとうございます

齋藤賢夫先生より多額のご寄付

齋藤賢夫先生（齋藤医院）より、町の福祉のために活用してほしいと、町に多額のご寄付をいただきました。ありがとうございます。



齋藤茂樹町長に寄付を手渡す齋藤賢夫先生

町の委員委嘱

教育委員に齋藤公朗さん、小松正志さん

三島町教育委員に、齋藤公朗さん（宮下）と小松正志さん（西方）が委嘱されました。子どもたちの教育の発展のためによりしく願います。



齋藤公朗さん



小松正志さん

固定資産評価審査委員に目黒忠昭さん

三島町固定資産評価審査委員に目黒忠昭さん（滝谷）が委嘱されました。固定資産評価審査委員は、固定資産の評価額に関する不服の審査を行います。適正な評価のためによりしく願います。



目黒忠昭さん

文化財総合的把握モデル事業

住民との協働を基本とした地域づくり計画を作ります

私たちの生活文化を 守り育てていこう

この事業は、町民の皆さんと一緒に、十年後、二十年後を見据え、私たちの生活文化全体を総合的に把握し、保存活用していくための構想・計画を作るための事業です。文化庁が全国の自治体から二十件を選定し、三島町もその中に選ばれました。

今回の選定は、国の重要無形民俗文化財「サイの神」や県指定の「虫送り」「ひな流し」など、町民の皆さんが守り続けてきた生活文化のすばらしさを認められたものです。全国には、三島町と同様に過疎化・少子高齢化に悩む集落がたくさんあるのが現状です。存続が危ぶまれるという意味で「限界集落」という言葉もよく耳にします。この山村での「生き方」や「暮らし方」について、真剣に考えていかなければなりません。自分たちの生活文化の豊かさを理解し、それを守り育てながら、いきいきと生きていくのではないのでしょうか。その方法を考え、計画を作る。これがこの事業の目標です。



国の重要無形民俗文化財
「三島のサイの神」



◎次回の策定委員会
11月14日 午後2時～
場所/町民センター

Keyman's voice



策定委員長
赤坂憲雄 県立博物館長
将来構想の手がかりに

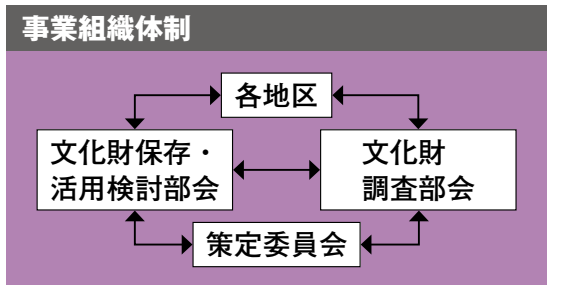
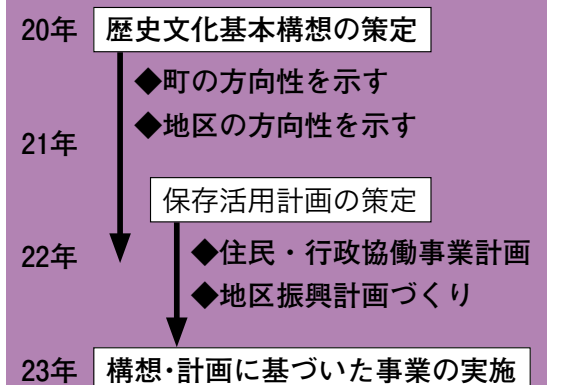
三島町には、岩手県遠野市に匹敵するくらいの文化財に関する調査報告書があります。そして、多くの民俗行事や石仏、神社などが残っているということは、それを支えてきた人々がいるということ。「もの」「人」「景観」が残っているということ。この事業は、三島町の将来に向けての構想を描くために、大変重要な手がかりになるだろうと感じています。

三島町では「まちづくり基本条例」を制定しています。本事業もその趣旨に則り、「住民との協働」を基本として構想と計画の策定をしていきます。右の図のように、策定委員会の他に文化財調査部会と

文化財保存活用検討部会の二つの部会を設置し、各地区の皆さんの想いを聴きながら進めていきます。※本事業に関して、ご意見・ご質問がありましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。【事務局】教育委員会 電話 四八―五五九九

策定委員会は一般公開 誰でも来場できます

文化財総合的把握モデル事業の流れ



これからの行事予定 town schedule	
11月8日(土)	9:00～ 西部巡回美術展(交流センター山びこ) 9:00～ 三島小まつり(三島小)
11月9日(日)	秋の全国火災予防運動(15日まで) 8:00～ 会津桐植樹祭(町民運動場)
11月10日(月)	10:00～ 木質バイオマスシンポジウム(町民センター)
11月12日(水)	19:00～ エアロビクス(三島中体育館)
11月14日(金)	14:00～ 第2回歴史文化基本構想策定委員会 (町民センター)
11月15日(土)	三島町消防団防火パレード 狩猟解禁
11月16日(日)	10:00～ おおたに新そばまつり(大谷活性化センター)
11月18日(火)	桐の子隊通学合宿(21日まで)
11月22日(土)	13:00～ 奥会津案内人講座(23日まで) (森の校舎カタクリ)
12月4日(木)	13:30～民生児童委員協議会定例会(福寿草)

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》 ☎ 役場 町民課 保健福祉係 Tel 4 8 - 5 5 6 5	
からだ元気運動教室 11月11日(火)13:30～ 町民センター	
機能訓練会 11月12日(水)14:00～ 福寿草	
総合検診 11月13日(木)受付 7:30～8:30 町民センター	
スッカリサラサラ教室 11月14日(金)13:00～ 町民センター 12月3日(水)13:00～ 町民センター	
足腰げんき教室 ○水中運動編 11月19日(水)13:00～ 町民センター集合 河東学園プール ○室内運動編 11月26日(水)13:30～ 町民センター	
ＹＹサークル 11月21日(金)10:00～ 金山町ゆうゆう館	
心の健康相談 12月1日(月)13:30～ 福寿草	

《社会福祉協議会より》 生きがいデイサービス 「サロン事業」の予定
桧原はつらつクラブ
11月18日(火) 10:00～ 桧原多目的集会所
滝谷和楽塾
11月20日(木) 10:00～ 滝谷集会所
高清水・小山いきいきサロン
11月25日(火) 10:00～ 高清水集会所

ご寄付ありがとうございました
ふるさと納税として
佐藤源治様(会津若松市)

今月の納税
○国民健康保険税 第4期 ○介護保険料(普通徴収) 第4期 ※納期限は12月1日です。

会津坂下警察署からのお知らせ		
三島町では9月中、空き巣1件が発生しました。管内においては、金属窃盗が多発しています。資材置き場などから金属製の足場や鉄骨などを盗み、業者に売却する手口です。最近では側溝のふたまで盗まれています。野外に置いてある金属製品の管理には十分注意し、施錠できる倉庫に保管するか、資材置き場に立ち入ることができないような防犯対策をお願いします。		
三島町内街頭犯罪等発生状況(1～9月)		
区 分	管 内	三島町
空 ぎ 巣 ね ら い	1	1
忍 込 み		
事 務 所 荒 し	2	
出 店 荒 し		
自 動 車 盗	3	
オ ー ト バ イ 盗		
自 転 車 盗	6	
自 販 機 ね ら い	6	
車 上 ね ら い	4	1
強 制 わ い せ つ		
街 頭 犯 罪 計	22	2
全 刑 法 犯	91	5
※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・傷害・万引き等)の犯罪発生件数が含まれます。		

女性の人権ホットライン	
☎ 役場 総務課 総務係	
法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、DV(家庭内暴力)やセクハラなど女性をめぐる様々な人権問題について、電話相談を実施します。相談には、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。	
《相談電話》0570-070-810	
○相談期間	11月17日(月)～11月23日(日)
○相談時間	午前8時30分～午後7時 ※22・23日は午前10時～午後5時
☎	福島地方法務局人権擁護課 Tel 024-534-1994

高齢者の振り込め詐欺被害急増	
福島県警察	
振り込め詐欺の被害が全国で急増しています。特に多いのは、社会保険事務所や税務署など行政機関の職員を名乗り、ATMの操作を指示して送金させる「還付金等詐欺」です。行政機関の職員がATMの操作を指示することはありません。そのような電話は絶対に信用しないでください。	
☎	会津坂下警察署 三島駐在所 Tel 52-2304

秋季全国火災予防運動 11月9日～11月15日 「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」	
会津坂下消防署 三島出張所	
火災が発生しやすい季節となりました。10月29日には、会津美里町の伊佐須美神社の本殿などが全焼し大きな損害が出ました。火災を起こさないよう次のことに注意しましょう。	

住宅防火 命を守る 7つのポイント
①寝たばこは絶対にしない
②ストーブは燃えやすい物から離れた位置に
③ガスコンロなどから離れる時は必ず火を消す
④逃げ遅れを防ぐ「住宅用火災警報器」を設置
⑤寝具や衣類、カーテンは「防災製品」を使用
⑥火が小さいうちに消すために「消火器」を購入
⑦子どもやお年寄を守るために「隣近所」の協力を

《住宅用火災警報器の設置義務について》
消防法により、すべての住宅の寝室や階段に「住宅用火災警報器」を設置することが義務付けられています。既存住宅に関しては平成23年6月1日までに、新築住宅についてはその新築時に、所有者が設置する義務があります。
☎ 会津坂下消防署 三島出張所 Tel 52-3032

後期高齢者(長寿)医療 保険料納付について	
☎ 役場 町民課 保健福祉係	
75歳以上の方が加入する「後期高齢者(長寿)医療制度」は、今年4月より制度が開始されました。保険料については、通常は年金から差引き(特別徴収)されますが、一定基準に満たない場合、納付書での納付(普通徴収)となります。また、特別軽減の対象となり保険料額に変更のあった方(10月の特別徴収からはずれた方)も、納付書での納付(普通徴収)となります。	
普通徴収は8月(軽減該当の方は9月)から始まっておりますので、もう一度保険料の納付についてご確認ください。	
☎	役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

油の流出事故を防ぎましょう	
☎ 役場 町民課 町民生活係	
寒い季節を迎え、ご家庭や事業所で暖房器具を使用するために灯油等を取り扱う機会が多くなります。万が一、灯油タンクなどから河川へ油が流出したら、火災の危険はもちろん、下流の水道や農業用水などに重大な影響を及ぼし、周辺住民の方々にも多大な迷惑をかけることになります。また、その処理費用を原因者に負担してもらう場合もあります。特にホームタンクをお持ちの方は次のことに注意し、油の流出事故を防ぎましょう	
灯油を使う前にまず確認	
◎地震の際の転倒防止のため、ホームタンクを固定しましょう。	
◎ホームタンクや暖房器具の配管などに、亀裂や老朽箇所がないか必ず確認し、もし異常を見つけたら部品の交換や修理をしましょう。	

灯油を使う時は
◎給油中はその場を離れないようにしましょう。
◎使用後はバルブやコックを完全に閉めましょう。
◎ホームタンクの残量を定期的に確認し、油の減り方が早い時は、油漏れがないか確認しましょう。
◎不要になった油を周辺に捨ててはいけません。

油流出事故が発生したら
◎すぐに布や新聞紙等で回収しましょう。汚染を広げてしまうので水で流さないようにしましょう。
◎すぐに役場または消防署に通報してください。

※油以外にも、川で魚が死んでいる、色のついた水が流れているなどの異常を見つけた場合にも通報してください。
☎ 役場 町民課 町民生活係 Tel 48-5555



地区の方々が作った竹筒の花が里に彩を添える。

宮下地区を中心に、自分の特技などを自宅で公開している「てわっさの里みやした」。住民の皆さんが「手づくり」と「人情」をモットーに、力を合わせて取り組んでいます。十月十九日には「てわっさの里秋まつり」が開催され、県内外から観光客が訪れました。懐かしい田舎町の情景。そこに住む人々の「手技」。静かな町の心なごむ交流がここにあります。

心なごむ てわっさ 手技の里



床屋を営む小島純さんのギャラリー工房「童心庵」。特技の「写真」と独学で学んだ「落語文字」が店内いっばいに飾られている。



須佐エミ子さんと矢澤昇さんの「工房遊遊・木工房木楽人」。須佐さんの編み組細工や裂き織り、矢澤さんの木工品が並ぶ。10月19日の「てわっさの里秋まつり」では、裂き織りの体験も行われた。



佐藤朋義さんの「一匁十点美術処」。切り絵、日本画、水彩画など様々な作品が展示されている。



坂内昭三さんの「盆栽師坂内」。桐下駄店を営むかたわら盆栽作りに取り組む。



「手づくり」の町おこしの中で、地元の子どもたちも楽しむ。



酒井テルイさんの「バッグの泉テルイ」。心のこもったかわいらしい編み組細工が並ぶ。



各工房・ギャラリーには腰掛けが置かれ、訪れた方にお茶を出すなどのおもてなしがされた。写真は、浮き（へらぶな）を作って30年という石井啓啓さんの「会津工芸あげ羽」。



石を磨いて40年という赤城勤さんの「石工房赤城」。その数はなんと500以上。



10月19日の「てわっさの里秋まつり」では、語り部サークル「ちゃんちゃんこ」の方々による昔語りが行われた。情感豊かな方言で語られる民話に、観光客や地元の子どもたちなどが聞き入っていた。



てわっさの里みやした

宮下地区を中心に、編み組細工や木工などの工芸、絵画、写真、書、石、盆栽など、様々な特技を公開している自宅工房・ギャラリーが点在しています。
 関 役場 産業建設課 文化観光係 Tel 0241-48-5533

子どもたちが歩く道のために
暮らしの中の宝物を伝えたい

遠藤由美子さん

えんどう ゆみこ 西方

奥会津書房編集長 福島県教育委員

「とにかく子どもたちのためになることを、一つでも二つでも実現していきたいです。」

何度も『子ども』という言葉の口にする遠藤由美子さん。子どもたちが、地域の中で幸せに生きて学ぶ環境を作りたいと話します。奥会津の人々の生き様、暮らしの文化を、文字にすることで次世代に伝えたいという思いから、平成10年に奥会津書房を設立。地域住民一人一人からの『聞き書き』によって出版した「会津学」には、山村でひたむきに生きてきた人々の人生のドラマが綴られています。

「ただひたすら『聴く』ことに徹し、その人の言葉をありのままに記録します。その中に、大切にしたい『宝物』があると思うからです。」

遠藤由美子さんが講師となり、県立川口高校の授業で『聞き書き』を取り入れたところ、生徒たちは



明らかに変わり、地域の人々や家族に『感謝』するようになったといいます。

「聞き書きは、素手で足元の土を掘るようなものです。でもこの愚直な仕事は、人を変える、地域を変えると信じています。」

子どもたちの未来を思い、憂い、その足元を照らすために、由美子さんは今日も『宝物』を見つけに地域の中へと入っていきます。

みしま 編集後記

人は、自分にとって都合の悪いことは無視するという性質があるそうです。例えば、宝くじには当たるような気がしても、地震が自分に襲いかかるとは思わないものです。しかし、これまで安全だといわれている地域でも大地震が起こってきました。「災害は忘れた頃にやってくる。」といいますが、最近「忘れる前にまたやってくる。」といった感じがします。地震は予測ができません。三島町でも全く安心できないのです。今日から「備え」を。

人口と世帯 10月1日現在（住民基本台帳）

人 口	2,159人(±0)	9月中の	出生	0人
(男)	1,016人(±0)	人の動き	死亡	0人
(女)	1,143人(±0)		転入	3人
世帯数	863世帯(±0)		転出	3人

広報みしま 11月号 No.188

発行日 平成20年11月7日

編集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
TEL 0241-48-5515

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

印刷 株式会社アポロ



「広報みしま」は環境にやさしい大豆インクを使用しています。

※本誌の印刷経費は1部91.11円です。

広報みしま 平成20年11月号

20



そば食べ放題
会津地鶏けんちんそば
高遠そば・ざるそば
(地粉石臼挽き)

おおたに新そばまつり

11月16日(日)

【午前の部】10時～12時

【午後の部】12時30分～2時30分

会場/大谷活性化センター

(三島町大字大谷字堂免1634)

◎前売券 限定200枚

大人2,300円 子供1,200円

※農産物等販売コーナーもあります。

※第2会場の「圓福寺」では古刹見学、揮毫、民話・舞踊が行われます。

申込 実行委員会事務局

TEL 0241-52-3416

又は TEL 090-6781-7706